交付運用報告書　　2022年２月期（2021年３月１日～2022年２月28日）

ｉシェアーズ iBoxx 米ドル建て ハイイールド社債 ETF
iShares iBoxx $ High Yield Corporate Bond ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ
毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。 さて、ｉシェアーズ iBoxx 米ドル建て ハイイールド社債 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2022年２月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、米ドル建てハイイールド社債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。 今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年２月末日	
１口当たり純資産価格（基準価格）	83.47 米ドル
純資産総額	16,669,773,646 米ドル
2022年２月期（2021年３月１日～2022年２月28日）	
トータルリターン	0.11 ％
１口当たり分配金額	3.484417 米ドル

（注）１口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

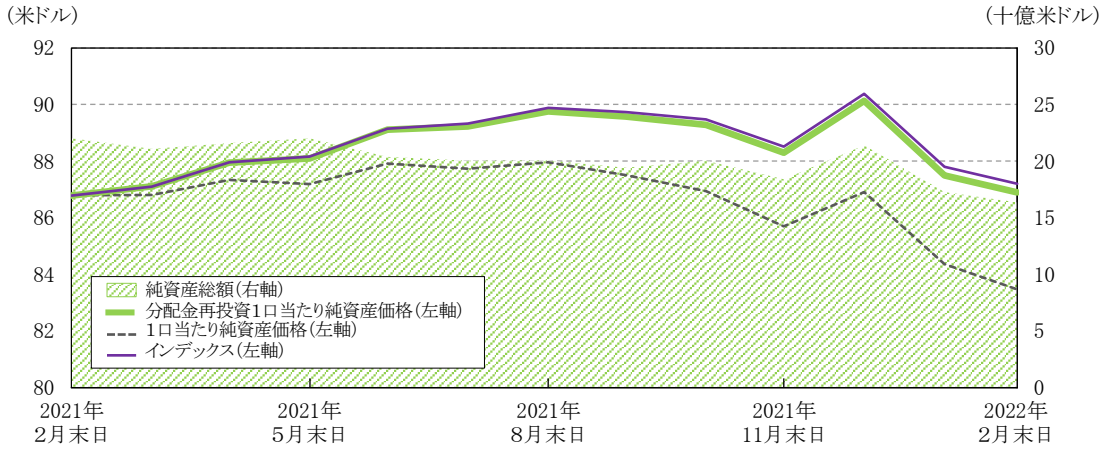
ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

＜その他記載事項＞
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（https://www.blackrock.com/jp/）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：
ｉシェアーズ・トラスト

≪運用経過≫

当期の１口当たり純資産価格等の推移について



2021年２月末日現在の１口当たり純資産価格：86.84 米ドル
2022年２月末日現在の１口当たり純資産価格：83.47 米ドル （１口当たり分配金額：3.484417 米ドル）
トータルリターン：0.11 ％

（注１）上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
（注２）分配金再投資１口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
（注３）ファンドのインデックスは、Markit iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド指数（以下「インデックス」といいます。）です。
（注４）インデックスおよび分配金再投資１口当たり純資産価格は、2021年２月期末の１口当たり純資産価格を起点として計算しています。
（注５）分配金再投資１口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

１口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

米国社債市場概観

米国債利回りの上昇と地政学的懸念の出現にもかかわらず、2022年２月28日に終了した12ヵ月間においてハイイールド債は利益をもたらしました。米ドル建投資適格社債およびハイイールド社債パフォーマンスの一般的な指標であるMarkit iBoxx 米ドル建てリキッド投資適格指数およびハイイールド指数のリターンは、それぞれマイナス3.24％および0.50％でした。ハイイールド債は、ブルームバーグ米国総合債券指数のマイナス2.64％のリターンに示されるように、米国内の投資適格債市場を上回りました。

ハイイールド債は、2021年を通じて良好なファンダメンタルズの背景を反映し、当年度の大半で良好なパフォーマンスとなりました。COVID－19のワクチン接種が展開され、経済が着実に正常な状態に戻るにつれて、成長と企業収益が急拡大しました。信用状況も実際に改善し、投資適格を下回る格付けの企業の見通しを押し上げました。石油価格の上昇も、ハイイールド債に含まれる多くのエネルギー関連銘柄の利益とバランスシートを押し上げ、支援材料となりました。その結果、資産クラス全体のデフォルト率は低下し、格上げと格下げの比率が改善しました。さらに、好調な経済状況は、2020年にハイイールド債に格下げされた多くの銘柄が投資適格に復帰する可能性を引き上げました。

需給要因もプラスに働き、利回りを強く求める投資家の意向が市場への着実な流入を促しました。新規供給の多くは、償還期間の延長または支払利息の低減のために既存債務の借り換えを行った発行体によるものでした。

最も特徴的であったと考えられるのは、ハイイールド債が、投資適格債と比べて金利に対する感応度が低いことによる恩恵を受けたことです。成長率とインフレの上昇を受けて米国連邦準備制度理事会（以下、「Fed」）が金融政策の引き締めに移行する中、この特性はプラスに働きました。Fedは、刺激策である量的緩和プログラムの縮小に加え、2022年に利上げを開始することを示唆しました。成長率上昇の見通しにより恩恵を受ける傾向があるハイイールド債は、債券市場全体と比較して、金利上昇によく持ちこたえました。

こうした状況は、ロシアのウクライナ侵攻を受け、当年度の最後の２ヵ月で大きく変わりました。当該事象をめぐる不確実性と、それが経済見通しにもたらした混乱が、高リスク資産に全面的に重くのしかかりました。ハイイールド債の価格はこれを受けて急落し、当該資産クラスでは、2020年初頭のコロナウイルスに起因する低迷期以来、最大の下落となりました。この売りによってインデックスの価格パフォーマンスは12ヵ月間全体でマイナスとなりましたが、収益からの貢献がその不足分を上回りました。

１．運用の経過

iシェアーズ　iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF

2022年２月28日現在のファンド概要

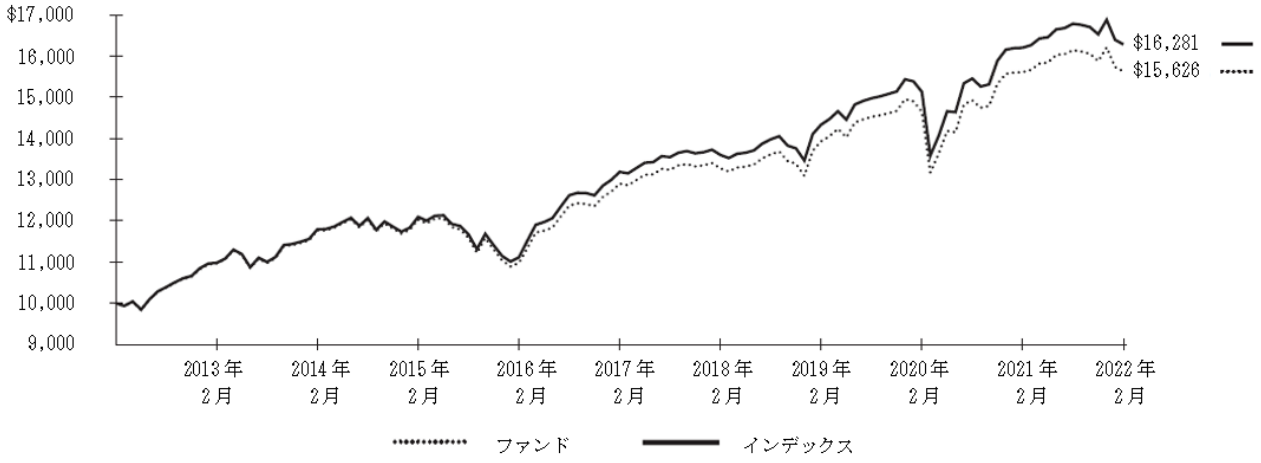
投資目的

iシェアーズ　iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF（以下「ファンド」）は、Markit iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド指数（以下「インデックス」）に代表される、米ドル建てのハイイールド社債で構成されるインデックスの運用成果の達成を目指します。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、保有しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	１年	５年	10年	１年	５年	10年
ファンドのNAV	0.11%	3.91%	4.56%	0.11%	21.11%	56.26%
ファンドの市場	0.75%	3.89%	4.49%	0.75%	21.04%	55.22%
インデックス	0.50%	4.31%	5.00%	0.50%	23.47%	62.81%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンド受益証券の分配時あるいは償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			５％の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の期首価額 2021年９月１日	口座の期末価額 2022年２月28日	当期間の費用支払額[a]	口座の期首価額 2021年９月１日	口座の期末価額 2022年２月28日	当期間の費用支払額[a]	費用比率(年率)
1,000.00米ドル	968.10米ドル	2.34米ドル	1,000.00米ドル	1,022.40米ドル	2.41米ドル	0.48％

[a] 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および181／365（表示されている半年の期間を反映）を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ情報

格付け別内訳

ムーディーズ格付け*	総投資比率[a]
Baa	2.7％
Ba	47.9
B	37.5
Caa	10.7
Ca	0.2
格付けなし	1.0

満期別内訳

満期	総投資比率[a]
０年から１年	0.2％
１年から５年	35.4
５年から10年	61.3
10年から15年	1.7
20年超	1.4

* 上記の信用格付けは、広く利用されており独立した、全国的に認知度の高い統計的格付け機関であるムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）が指定した格付けです。ムーディーズの信用格付けは、個々の債券の信用の質や発行体の総体的な信用度に関する意見です。投資適格はBaa以上の信用格付け、投資適格を下回る格付けはBa以下の信用格付けを指します。格付けなしの投資は、必ずしも信用の質が低いことを意味するものではありません。信用格付けは変更されることがあります。

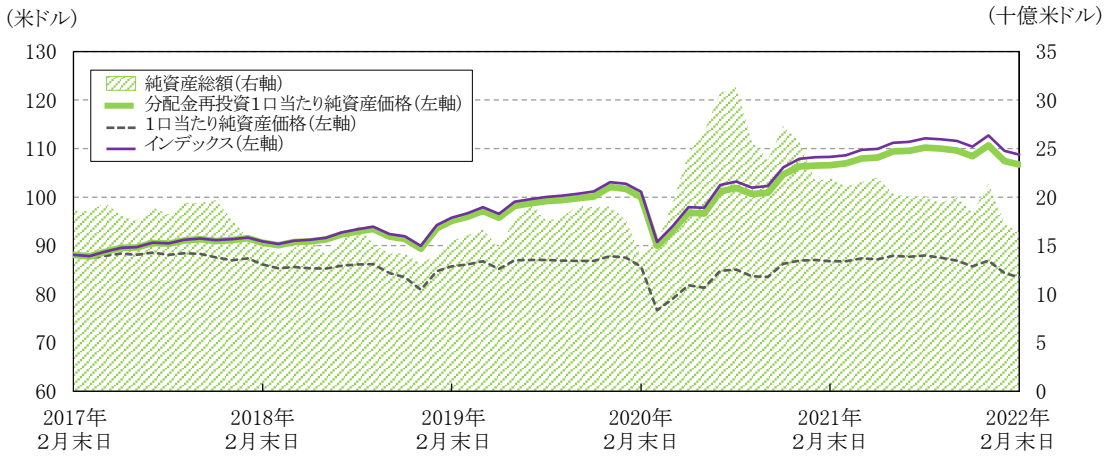
[a] マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">項目の概要</th></tr>
<tr><td rowspan="5">投資顧問報酬</td><td>投資顧問報酬</td><td>平均日次純資産総額（注）</td><td rowspan="5">ファンドに提供する投資顧問サービスの対価</td></tr>
<tr><td>0.5000%</td><td>190億米ドルまで</td></tr>
<tr><td>0.4750%</td><td>190億米ドル超、
330億米ドル以下</td></tr>
<tr><td>0.4513%</td><td>330億米ドル超、
470億米ドル以下</td></tr>
<tr><td>0.4287%</td><td>470億米ドル超</td></tr>
<tr><td>その他の費用</td><td colspan="2">0%</td><td>専門家報酬</td></tr>
</table>

（注）平均日次純資産総額とは、ファンドの属する一定のファンドグループの純資産総額の日々平均残高の合計額を指し、投資顧問会社は上記の料率に従って計算される投資顧問報酬の合計額のうち、ファンドに係る割当額を受領します。

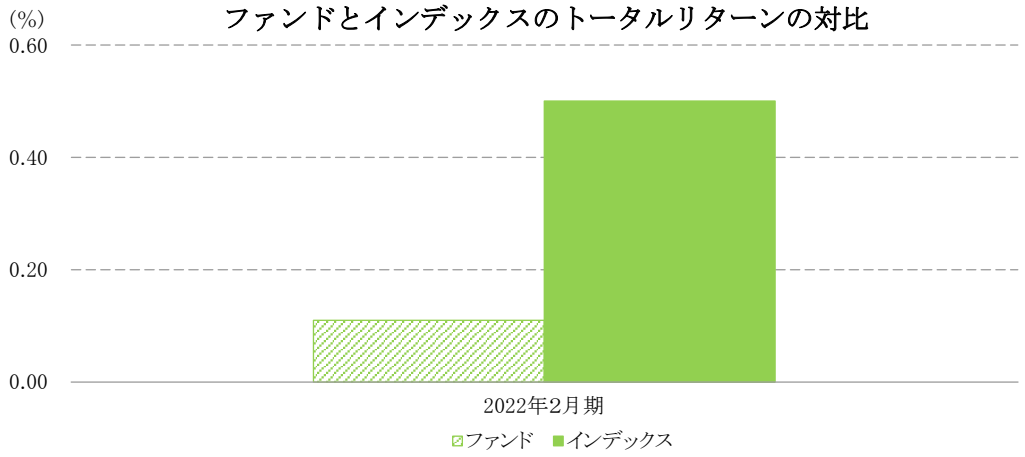
最近５年間の１口当たり純資産価格等の推移について



	2017年 ２月末日	2018年 ２月末日	2019年 ２月末日	2020年 ２月末日	2021年 ２月末日	2022年 ２月末日
１口当たり純資産価格 （米ドル）	88.08	86.13	85.71	85.71	86.84	83.47
１口当たり分配金額 （米ドル）	－	4.453567	4.517213	4.368792	4.214647	3.484417
ファンドのトータル リターン（%）	－	2.87	4.95	5.14	6.56	0.11
インデックスのトータル リターン（%）	－	3.13	5.41	5.54	7.09	0.50
純資産総額 （千米ドル）	18,594,499	15,271,455	15,341,864	13,456,300	22,473,704	16,669,774

（注１）上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
（注２）インデックスおよび分配金再投資１口当たり純資産価格は、2017年２月期末の１口当たり純資産価格を起点として計算しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2021年３月１日～2022年２月28日）の１口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む１口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における１口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	１口当たり純資産価格	１口当たり分配金額（対１口当たり純資産価格比率(注1)）	分配金を含む１口当たり純資産価格の変動額(注2)
2021年３月１日	86.84	0.306839 (0.35%)	0.31
2021年４月１日	86.68	0.293548 (0.34%)	0.14
2021年５月３日	87.15	0.293943 (0.34%)	0.76
2021年６月１日	87.01	0.29093 (0.33%)	0.15
2021年７月１日	87.70	0.291521 (0.33%)	0.99
2021年８月２日	87.47	0.282878 (0.32%)	0.05
2021年９月１日	87.74	0.275083 (0.31%)	0.54
2021年10月１日	87.24	0.289453 (0.33%)	－0.21
2021年11月１日	86.64	0.277103 (0.32%)	－0.33
2021年12月１日	85.65	0.281508 (0.33%)	－0.70
2021年12月16日	86.23	0.29623 (0.34%)	0.88
2022年２月１日	84.47	0.305381 (0.36%)	－1.45

（注１）「対１口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
対１口当たり純資産価格比率（%）＝100×ａ／ｂ
ａ＝当該分配落日における１口当たり分配金額
ｂ＝当該分配落日における１口当たり純資産価格＋当該分配落日における１口当たり分配金額

（注２）「分配金を含む１口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。
分配金を含む１口当たり純資産価格の変動額＝ｂ－ｃ
ｂ＝当該分配落日における１口当たり純資産価格＋当該分配落日における１口当たり分配金額
ｃ＝当該分配落日の直前の分配落日における１口当たり純資産価格

（注３）2021年３月１日の直前の分配落日（2021年２月１日）における１口当たり純資産価格は、86.83米ドルでした。

≪今後の運用方針≫

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

≪お知らせ≫

該当事項はありません。

≪ファンドの概要≫

ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、米ドル建てハイイールド社債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、少なくともその資産の80パーセント以上をインデックスの構成銘柄に投資し、さらに少なくともその資産の90パーセント以上をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考えるインデックスに含まれるタイプの確定利付証券に投資します。
運用方法	ファンドは、米国で販売された米ドル建てハイイールド社債(Markit Indices Limited(「指数提供会社」)により決定されます。)によって構成されるルールに基づいた指数であるインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体として適用されるインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	１．投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの株式に投資すること。）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに有価証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および連邦または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 ２．借入を行うこと。但し、（ｉ）ファンドは、これを行わなければ、時機を失した証券の処分を要する買戻請求に対応するために、臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ⅱ）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（ｉ）および（ⅱ）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33⅓パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 ３．優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法（改正済み。）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。

	４．貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 ５．不動産（ただし、有価証券またはその他の金融商品を所有する結果取得した場合はこの限りではなく、かかる制限はファンドが不動産事業に従事する会社の有価証券または不動産もしくは抵当権に裏付けされた有価証券もしくはその他の金融商品に投資することを妨げるものではありません。）、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限はファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。 ６．他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。
分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、特定のファンドに対してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要であるとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。

≪ファンドデータ≫

組入資産の内容（2022年２月期末現在）

組入上位資産

（注）組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「Ⅳ．投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

（注１）ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

（注２）ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2022年２月期末	
１口当たり純資産価格	83.47 米ドル
純資産総額	16,669,773,646 米ドル
発行済口数	199,700,000 口

2022年２月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
368,200,000	427,300,000	199,700,000

本報告書に記載の「１口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うことになります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。